

高田らしさを生かした
何度も訪れたくなるまち

～ 個店の持続的経営と
誇れるまちなかの実現に向けて～

これからのまちなか

6つの方針

高田まちなか会
協力：陸前高田市、陸前高田商工会
イラスト協力：高田高校美術部
(無料イラスト：Loose Drawing、いらすとん)

[ver.2024.6]

ビジョンの背景

これまで

震災でまちの存続が危ぶまれながらも官民連携の努力により地元客が便利に使えるまちとして復興してきました。

今なぜ方針？

復興特需が終わり、コロナ禍、物価上昇など環境が大きく変化した今、今後も各店舗が継続していくため、改めてどんなまちなかであるべきかを考え、共有することが重要と考えました。

どんなまちを目指す？

大きな事業所が少ない高田だからこそ、**地元客も大切にしながら広域客※にも繰り返し訪れてもらうことが重要**で、そのための方針を6つに整理しました。それらの取組により、**観光客誘致や空き地活用にもつながる**と考えています。

※車で約2時間までの盛岡・仙台あたりを想定

目標と取組の
つながり

まちなかの課題

6つの方針をふまえた
具体取組の実施

- ・地元客や広域客の
リピーターの増
- ・遠方客やWEB客の増

- 各店の収益増
- まちなかへの投資増
(空き地活用)

好循環の実現

- 大 ○各店の持続的な経営
- 目 ○誇れるまちなかの実現
- 標 ○市民の豊かなくらし

逆算で方針や取組を検討

① 魅力的な個店が集うまち

- ・それぞれのお店や事業者が経営力と魅力を磨き、お客さんを惹きつけるまち



まちゼミ、勉強会・研修・視察会、商品開発、一店逸品、各種調査、デジタル技術活用、後継者対策等

② いつもなにかやっているまち

- ・まちに来るきっかけとなるイベント等が頻繁に行われ、活気が感じられるまち



マルシェ、餅まき、歩行者天国、よ市、まちなかバル、軽トラ市、本丸公園・川原川活用等

③ つい歩きたくなるまち

- ・魅力的な場所がいくつもあり、巡りたくなるまち
- ・ベンチや木陰があり無理なく歩けるまち



案内看板、通り名表示、歩行者天国、ベンチ、提灯・パナール、まちなかマップ、まち歩き手形、食べ歩き等



④ やさしいおもてなしのまち

- ・やさしさやおもてなしを感じる居心地の良いまち
- ・防災・防犯に配慮した安全安心なまち



清掃活動、ユニバーサルマナー、ユニバーサルデザイン、花と緑運動、案内看板、避難訓練等

⑤ 地元を生かすまち

- ・歴史・自然・特産品・人・施設などの地元の資源を生かしたまち
- ・地域の未来を考えた循環型のまち(経済、エネルギー、環境等)



七夕やお天玉などの連携、博物館や道の駅との連携、地産地消、地域電子通貨等

⑥ 風通しのよいまち

- ・ご縁を大事にしながら、市内外の多様な人が関わる風通しのよいまち



WEB活用(HP,SNS)、まちなか物語、若者協働、友好都市連携、生産者連携、会員間の交流等

※ 具体的な取り組みの実施主体等は今後検討となりますが、多様な人々が力を合わせて実現していくことを想定しています。